



### 第15回身近な水環境の全国一斉調査結果概要

発行日 2018年12月1日  
 編集 全国水環境マップ実行委員会事務局  
 発行 全国水環境マップ実行委員会  
 発行所 全国水環境マップ実行委員会事務局  
 問合せ先 全国水環境マップ実行委員会事務局  
 みずとみどり研究会気付(申込・問合せ)  
 〒185-0021 東京都分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202  
 みずとみどり研究会気付  
 TEL/FAX: 042-327-3169  
 E-mail: mizutomidoriken@ybb.ne.jp  
 URL: <http://www.japan-mizumap.org>  
 発行部数 6,000部



本調査は公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けて実施しています。

第15回 2018

# 身近な水環境の 全国一斉調査

●●笑顔でつなぐゆたかな水辺●●

## 第15回 調査結果概要 2018

### 目次

I 調査の背景	P.1
II 調査の実施手法	P.2
III 調査結果の概要	P.3
全国一斉調査諸データの推移	P.4
2018 全国水環境マップ 第15回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.5
2004 全国水環境マップ 第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.6
IV 各ブロックでの調査結果	P.7
北海道地方	P.7
東北地方	P.8
北陸地方	P.9
関東地方	P.10
中部地方	P.11
近畿地方	P.12
中国地方	P.13
四国地方	P.14
九州・沖縄地方	P.15
V 一斉調査結果の活用事例紹介	P.16
VI 継続調査参加団体	P.19
VII 全国水環境マップ実行委員会名簿	P.20
VIII 身近な水環境を調べよう! 第16回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い	P.21
第16回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙	P.22

※「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年6月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見も掲載しました。

調査器材は(株)共立理化学研究所から提供を受けています。

全国水環境マップ実行委員会

後援 国土交通省 環境省

印刷 エキノックス



# I 調査の背景

近年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まっています。市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は1980年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていません。このような多くの市民調査の結果を有効に利用するためには統一した調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。



多くの市民や学校の子どもたちが統一した調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉で調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。

## 【身近な水環境の全国一斉調査のはじまりと10年間のまとめが一冊の本になりました。】

調査を実施するようになった社会的背景からどのようにして全国一斉調査がはじまったのか。そして、どのように全国に広まったのか。これまでのデータのまとめも含めて身近な水環境の全国一斉調査が一冊の本になりました。身近な水環境の全国一斉調査10年の歩みがわかる「見る 知る 調べる水」((有)全国環境研究会誌事務局 発行：2015年)は全国水環境マップ実行委員会事務局から定価1,500円(税込)送料別で販売中です。



「身近な水環境の全国一斉調査」は2004年6月に開始され、15年間で延べ106,548人を超える市民や学校の子どもたちが参加し、全国の調査した水辺の延べ数はおよそ82,135地点です。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待しています。

## 目的と意義 ~自分たちで調べて、環境保全につなげよう~

1. 身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2. 統一したマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3. 身近な水環境の調査結果をすぐに知ることができる(行政による水質調査結果の公表はおおよそ1年後である)。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4. 河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5. 同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6. 身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7. 水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8. 汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9. 調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10. 子どもたちが調査に参加することにより、100年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

# II 調査の実施手法

## 調査の概要

調査日：2018年6月3日(日)を中心に実施  
調査者：『全国水環境マップ実行委員会(委員長：小倉紀雄・東京農工大名誉教授)』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。  
調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、パックテストでCODを測定。

## 調査項目

### ●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と3種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、パックテストでCODを測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することでパックテストの反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

### ●COD(化学的酸素要求量)

COD(Chemical Oxygen Demandの略称)は試水中にどのくらい酸化される物質、主として有機物があるかを示すもので、水中の有機物量の目安となります。河川水の一般的なCODの値は、きれいな水で1-2mgO/L程度ですが、水が汚れるにつれて値が大きくなります。今回の調査も同一のロット番号(製造番号)のパックテストを用いて、同一試料を3回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。

※パックテストは、株式会社共立理化学研究所の登録商標です。

## 調査の手法

### ●採水

- ①雨天や増水などによる調査の中止も考慮し、これまでに調査継続してきた地点や新たに調査してみたい地点を決定します。調査地点を調査票に記入します。
- ②より正確なデータ測定のため、水質の時間変化を考慮し採水時間は午前中に行います。
- ③試水を入れる容器は予め良く洗って乾かし、採水地点名・記号・採水日時を明記しておきます。採水器具や試水を入れる容器は採水を行う川の水で十分に共洗いします。
- ④浅く流れが穏やかな川では、川に入り川の中央で上流に向かって採水し、深い川や流れの速い川では、橋などの上からロープをつけたバケツを下ろし採水します。舞い上げられたゴミなどが混入しないよう十分注意して行います。
- ⑤調査月日・調査時刻・天気とともに、採水地点の気温と採水した試水の水温を測定し調査票に記入します。

### ●CODの測定

- ①試水の水温を測定し反応時間を決定します。
- ②添付の操作手順書に従い測定します。
- ③反応時間終了後ただちに標準色と比べ測定値を調査票に記入します。
- ④同じ試水で3回測定します。



# III 調査結果の概要

調べてわかる 身近な水辺

## 「100年の眼」で全国の水辺を調べ続ける

今年は豪雨や大型の台風による水害や暴風による被害、近畿や北海道での地震などがあり、それらに伴う土砂災害なども発生し、多くの自然災害が全国各地でありました。災害でお亡くなりになった皆さまにはお悔やみ申し上げるとともに被災された皆さまにはお見舞い申し上げます。

本調査は市民が長期にわたり身近な水辺の水質を調べることによりその水辺の状況を知り、次世代により良い水辺を残すための活動のための資料となっています。今後もより多くの市民に参加してもらい、全国各地の水辺のデータを蓄積していきたいと思えます。

### 全国統一日

調査日 2018年6月3日(日)  
参加団体数 388団体(個人参加含む)  
調査地点数 2,615地点

### 調査総数(全国)

期間 2018年5月17日～7月10日まで  
参加団体数 **730団体** [参考:第1回 531団体、第2回 1,000団体、第3回 944団体、第4回 917団体、第5回 997団体、第6回 1,011団体、第7回 913団体、第8回 885団体、第9回 926団体、第10回 865団体、第11回 792団体、第12回 771団体、第13回 750団体、第14回 758団体]  
地点総数 **6,920地点** [参考:第1回 2,545地点、第2回 5,018地点、第3回 4,923地点、第4回 5,473地点、第5回 6,241地点、第6回 5,683地点、第7回 5,909地点、第8回 5,653地点、第9回 5,581地点、第10回 5,421地点、第11回 5,544地点、第12回 5,842地点、第13回 5,270地点、第14回 6,124地点]  
※一斉調査日からかなり離れて実施した調査結果を送っていただいた団体もありますが、これらは参考データとさせていただきます。

### 調査地点(海外)

韓国 10地点

## 調査のまとめ

15年目を迎え、参加者の延べ人数が10万人を超えました。これまでご参加いただいた皆さまありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

今年の調査は過去最多地点数の6,920地点となりました。今年の調査地点数が増えた理由として、法政大学の水文地理学研究室でおよそ2,000地点、全国各地の水質調査を行っていただきました。研究室ではそのほかの微量元素なども測定して、調査結果を研究室独自で活動記録として冊子にまとめるなどしています。本調査が市民環境科学のツールとして多くの市民に活用され、学生の研究のためのツールとしても活用している事例です。

また、企業としてもイオン株式会社が各店舗に呼び掛け、地域の子どもたちとともにチアーズクラブとして水質調査に参加してくれました。まだ呼びかけは始まったばかりで来年以降も多くの店舗で子どもたちと水質調査をしてもらいたいものです。

さて、全国の水質調査の結果は、0～3mg/L未満の地点が28%、3～6mg/L未満の地点が43%、6mg/L以上の地点が29%という結果になりました。水質結果には含まれていませんが、定点調査をしている地点での濁水報告は41地点ありました。各地域での水質結果の報告とともに継続的に調査をしている市民からは過去との比較なども事務局に送られてきており、各地の水質、水環境の変遷がまとめられています。

## 【ご寄付のお願い】

本調査は、現在、公益財団法人河川財団の河川基金の助成金で、調査器材はバックテスト・メーカーの(株)共立理化学研究所のご厚意で無償提供していただき運営しています。しかし、年々値上げする郵送料やデータ集計のための諸経費の工面が困難になっています。実行委員会でも様々な提案をしてお応じしていますが未だ成果にはつながっていません。こうした諸般の事情をご理解いただき、本調査にご支援をいただける方は、下記の振替口座にご協力のほどお願い申し上げます。

### ご寄付いただく皆さまへ

郵便局備付けの用紙で振込みをしていただく場合、お手数ですが「寄付」又は「一斉調査寄付」とご記入ください。なお、寄付金は、全国調査のデータ集計や郵送料等、本調査の運営に活用させていただきます。

郵便振替口座に直接お振込みの場合	銀行口座等からお振込みの場合
口座名称 全国水環境マップ実行委員会	ゆうちょ銀行 支店名 国分寺南
口座記号番号 00150-0-514970	店番 〇一九 当座 口座番号 0514970

# 全国一斉調査諸データの推移

## ●年別 参加団体及び調査地点数集計結果

作成：全国水環境マップ実行委員会

都道府県名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	団体	地点																												
1 北海道	7	26	17	48	20	112	38	179	48	273	41	184	35	264	33	158	35	202	28	139	29	131	24	131	25	131	36	435	28	486
2 青森県	11	35	14	35	11	24	13	41	13	30	6	19	7	31	8	31	9	22	5	15	5	16	6	19	5	17	5	19	7	69
3 岩手県	8	24	21	35	12	30	13	36	9	41	12	24	11	76	12	49	7	18	6	16	7	23	4	12	2	6	3	13	6	48
4 宮城県	5	58	11	95	17	122	8	96	7	92	13	110	7	70	7	30	10	43	9	36	6	27	6	25	6	29	6	30	8	65
5 秋田県	2	5	9	27	9	30	10	44	16	50	6	42	5	24	4	11	4	13	3	8	2	6	2	7	2	5	5	30	6	42
6 山形県	105	271	112	275	80	211	28	55	60	162	21	50	23	50	2	51	2	51	2	53	3	54	2	52	2	52	2	52	4	114
7 福島県	1	3	4	4	2	3	11	38	12	46	6	38	4	87	5	48	6	87	6	42	6	42	7	78	8	48	10	69	10	176
8 茨城県	46	235	43	303	38	295	30	295	27	283	34	293	30	278	30	297	34	293	43	320	41	295	43	305	40	286	37	285	36	321
9 栃木県	2	4	2	4	9	27	12	41	6	25	6	16	4	9	3	5	6	15	4	6	4	11	5	10	6	11	7	13	8	49
10 群馬県	2	2	10	39	9	36	8	23	6	48	9	54	6	51	5	46	5	69	5	44	10	121	9	76	9	81	10	114	9	123
11 埼玉県	47	252	94	444	87	438	46	450	110	603	79	470	75	539	66	454	70	477	61	450	61	468	63	486	64	399	63	441	65	461
12 千葉県	4	16	13	40	40	114	17	98	16	97	17	82	19	79	15	66	18	85	18	159	18	133	18	111	16	221	19	186	17	209
13 東京都	87	373	116	546	112	521	120	543	113	640	111	648	116	723	94	599	111	630	105	689	109	651	106	681	100	608	106	634	89	627
14 神奈川県	19	72	29	193	39	220	41	256	23	236	28	230	35	266	30	277	36	298	38	321	37	378	39	374	37	385	39	470	33	423
15 新潟県	5	85	26	190	34	224	30	340	59	412	54	346	54	417	47	335	27	367	24	298	26	317	28	318	25	269	23	210	24	222
16 富山県	0	0	7	15	5	9	11	36	8	28	7	27	7	26	7	28	7	24	5	22	4	15	4	12	6	15	7	38	9	42
17 石川県	2	13	12	48	6	16	7	19	5	12	7	15	5	13	5	13	5	12	3	8	2	7	2	7	6	12	2	9	4	23
18 福井県	6	20	3	41	5	46	3	43	4	52	7	61	4	50	5	49	2	45	4	50	3	47	4	46	3	43	7	48	7	64
19 山梨県	49	213	70	250	41	161	36	160	36	147	42	163	41	163	43	194	41	162	40	169	39	171	40	208	39	196	34	225	33	191
20 長野県	4	11	19	68	8	64	10	53	14	97	26	130	19	116	26	196	25	208	28	222	23	289	25	380	22	303	29	364	30	366
21 岐阜県	5	23	9	29	9	31	9	36	16	55	18	71	10	33	11	26	14	35	15	35	14	40	15	101	16	42	18	45	19	76
22 静岡県	24	106	24	93	24	103	17	66	12	196	10	47	8	44	10	34	9	30	10	54	10	25	10	34	12	27	11	119	10	128
23 愛知県	22	66	35	142	31	115	27	70	38	89	54	164	33	110	22	78	26	114	25	114	23	127	20	118	26	132	22	114	27	162
24 三重県	2	55	11	79	13	82	11	101	8	97	16	121	15	106	9	47	9	44	8	39	6	17	9	33	10	48	11	37	6	51
25 滋賀県	4	114	54	473	63	605	86	739	87	773	114	709	110	760	98	721	116	646	103	594	96	588	93	600	87	547	83	514	81	501
26 京都府	4	40	7	55	9	49	7	54	6	101	21	108	18	111	18	119	19	104	15	71	15	104	12	60	11	54	11	80	9	59
27 大阪府	14	81	14	91	17	124	20	157	15	154	30	236	53	338	55	301	64	280	43	229	37	201	28	213	24	188	28	202	31	168
28 兵庫県	2	13	19	65	23	84	22	82	17	78	32	98	33	129	35	150	41	147	37	125	37	147	34	136	33	136	30	136	33	136
29 奈良県	2	7	13	26	7	46	6	31	9	31	23	56	12	42	16	55	18	56	15	42	14	44	13	31	10	22	11	24	12	35
30 和歌山県	0	0	5	20	2	6	5	13	9	27	7	14	12	28	6	22	14	48	8	22	4	22	4	19	5	14	3	34	3	43
31 鳥取県	3	8	4	11	2	4	4	6	4	10	3	4	1	2	2	4	2	4	2	5	2	5	3	21	2	3	2	6	3	32
32 島根県	1	2	3	6	4	12	1	2	2	10	5	20	3	13	2	11	3	15	7	16	8	28	4	81	3	31	4	31	4	89
33 岡山県	1	20	12	143	16	164	15	176	12	176	17	183	17	199	12	195	25	238	13	217	12	196	12	275	10	249	14	292	12	307
34 広島県	1	17	4	45	9	91	7	80	7	83	5	76	5	73	3	18	3	43	5	54	5	47	7	79	9	62	10	83	8	51
35 山口県	5	17	6	21	5	18	2	27	7	99	4	34	3	16	3	17	6	23	6	25	5	21	3	18	4	17	8	23	8	21
36 徳島県	8	74	16	72	12	29	24	147	23	95	13	54	9	38	103	376	38	142	36	144	31	158	30	140	23	85	22	103	17	80
37 香川県	1	2	3	9	5	12	8	18	5	17	6	19	5	16	4	12	5	12	4	13	3	12	3	12	2	10	3	10	3	35
38 愛媛県	7	60	39	519	13	166	14	219	11	285	11	209	17	210	14	237	13	150	11	133	6	175	6	155	5	145	7	132	8	124
39 高知県	8	33	29	96	34	99	60	197	21	52	26	68	17	68	16	72	17	58	10	43	14	45	16	53	14	84	12	51	11	69
40 福岡県	4	29	11	36	11	63	14	56	21	104	19	84	16	66	14	60	17	77	17	61	21	82	24	84	22	76	19	70	22	92
41 佐賀県	0	0	33	123	32	110	33	124	37	120	37	112	26	82	17	57	10	43	15	56	11	36	5	19	5	20	8	27	5	24
42 長崎県	0	0	7	16	9	15	5	10	4	10	5	12	6	13	4	12	6	16	8	25	7	73	7	34	4	12	6	187	4	228
43 熊本県	1	3	2	11	4	15	11	21	8	34	4	13	4	9	1	3	3	10	9	33	4	19	5	39	5	35	5	18	6	77
44 大分県	6	19	6	18	5	30	4	21	7	40	7	47	5	19	4	18	2	26	5	47	3	36	4</							

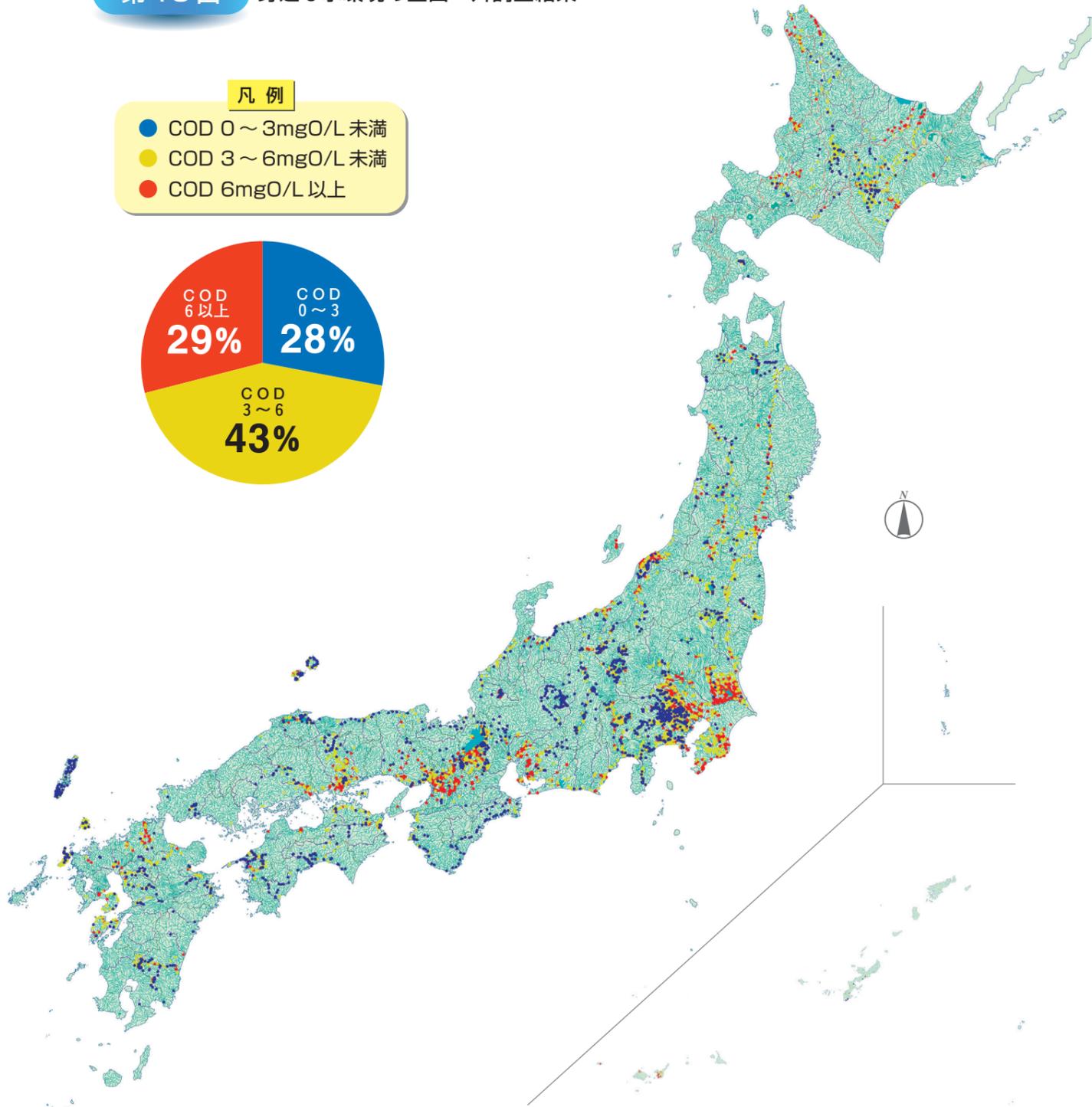
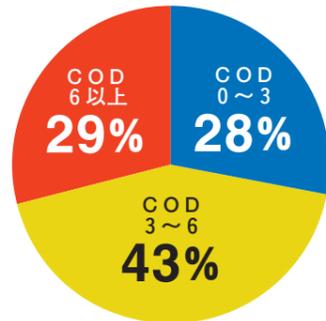
# Ⅲ 調査結果の概要

## 2018全国水環境マップ

第15回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



## 2004全国水環境マップ

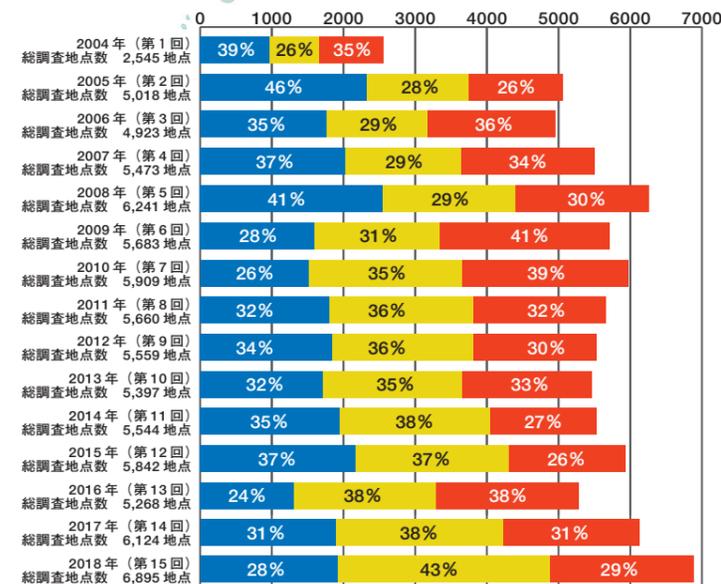
第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果  
水質調査の結果と分布

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

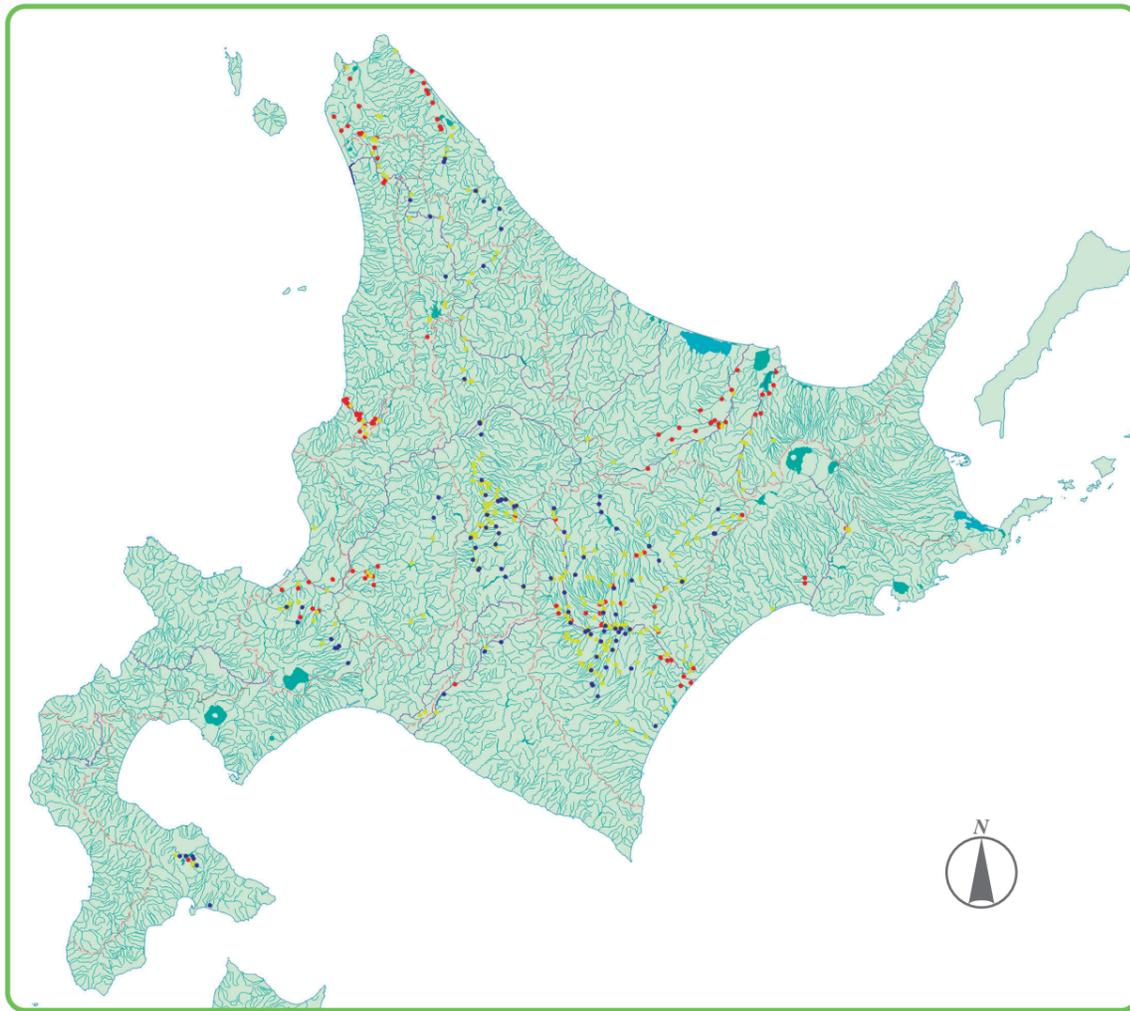


調査地点数と結果の推移



# IV 各ブロックでの調査結果

## 北海道地方

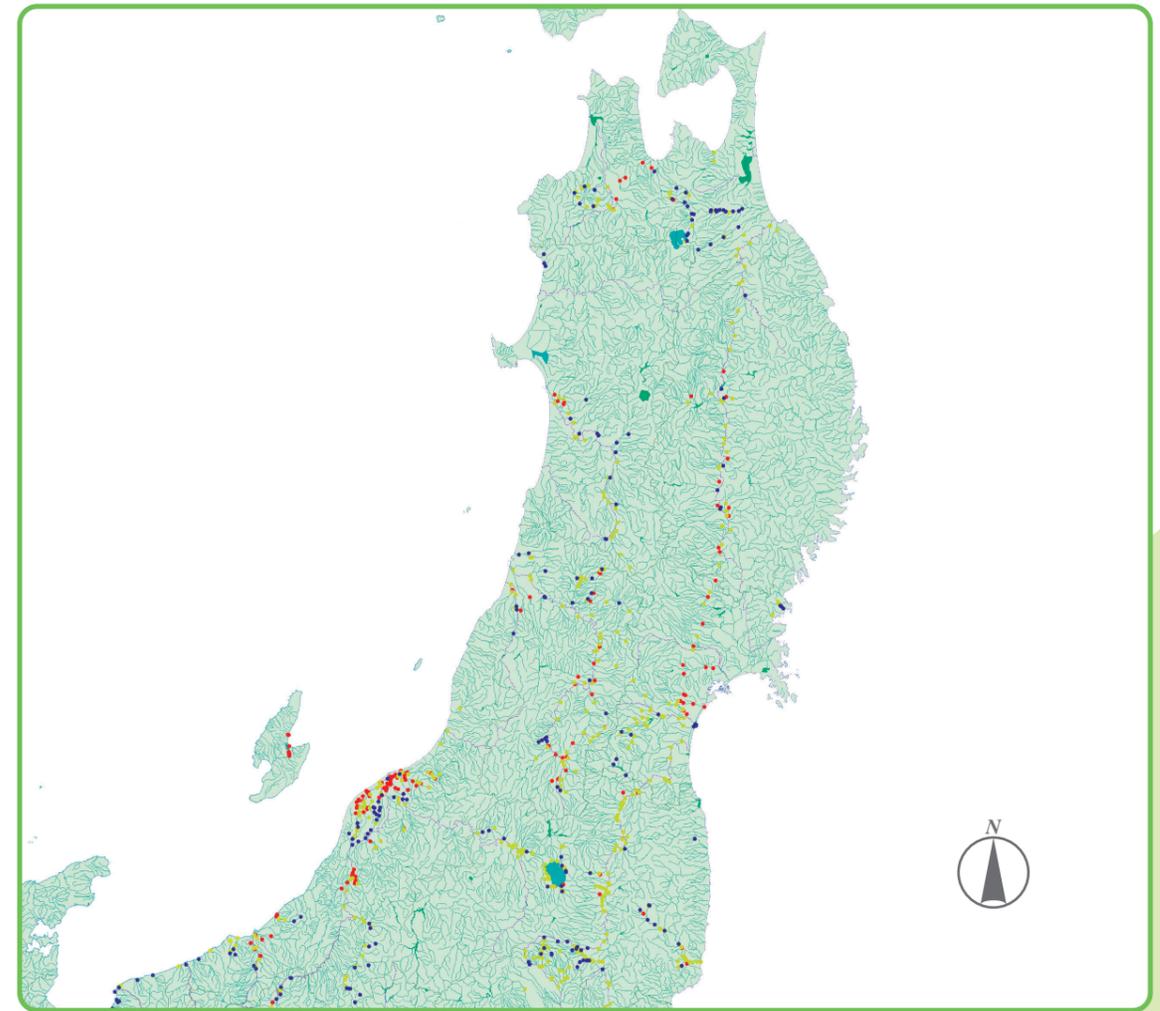


### 参加者からのコメント

- ・ H28.8の台風増水による堆積土砂はH29にいったん除去されたが、H30春の融雪増水で再度、冠水し土砂が堆積した。
- ・ H28.8の台風増水で減少した水草がだいぶ回復した。
- ・ 両岸が自然石護岸で植生の侵入が旺盛。水際のごく一部でゴミを確認。
- ・ 年数回、一過性で悪臭（尿尿臭）・濁りが認められる。



## 東北地方



### 参加者からのコメント

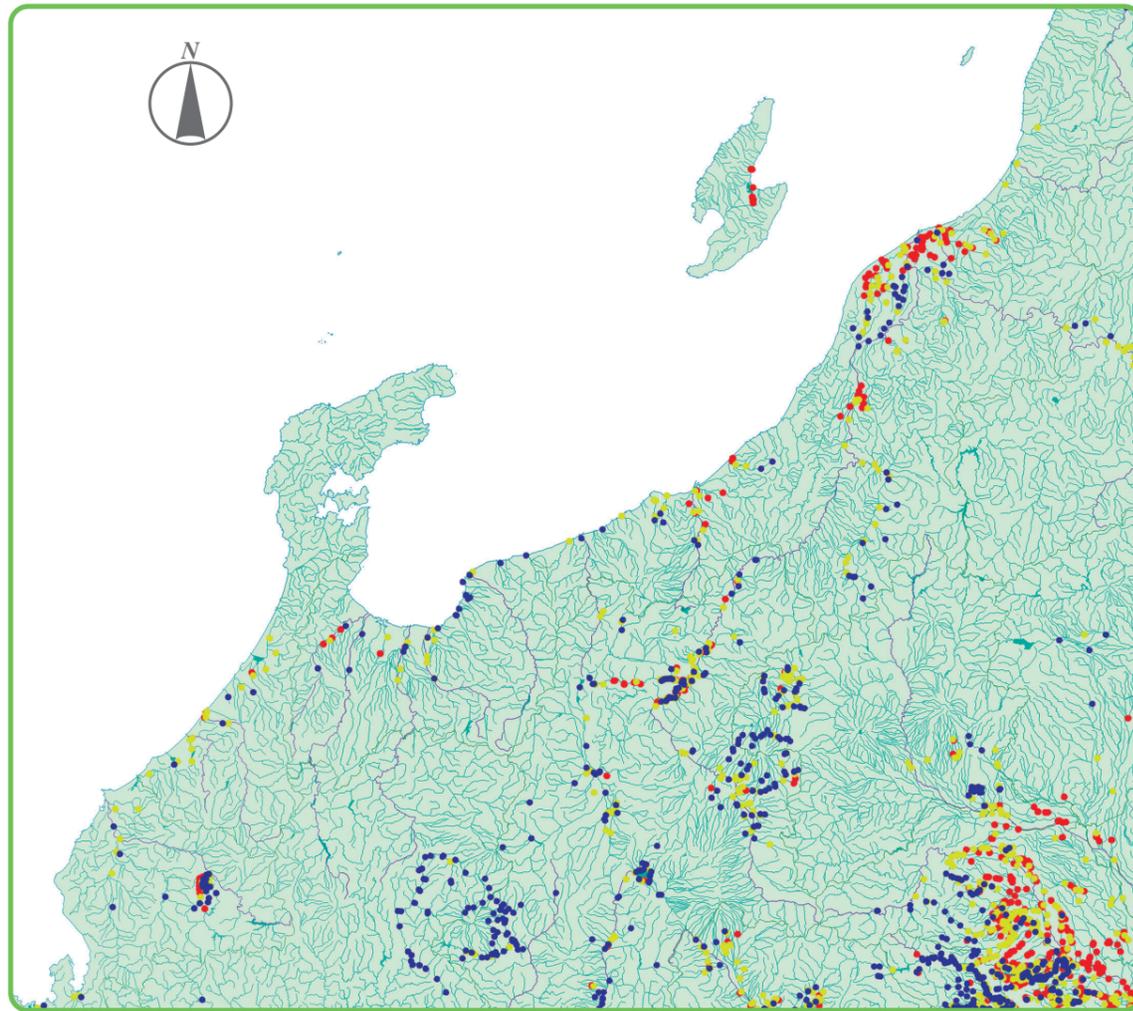
- ・ もう、かつての干潟の様子ではありません。水辺は1/3もないほど。でも、小さなカニたちは水際に多数いました。
- ・ 水辺のカヤがすっかり刈られ、河川もきれいに石畳があったことに驚きましたが逆にお目当てのカヤネズミ探しができませんでした。
- ・ 200名住む名取市の復興住宅にて周りの水環境を住民が実施した調査です。新しいことに取り組めたこと、喜ばれました。ありがとうございました。



凡例 ● COD 0～3mgO/L 未満  
● COD 3～6mgO/L 未満  
● COD 6mgO/L 以上

# IV 各ブロックでの調査結果

## 北陸地方

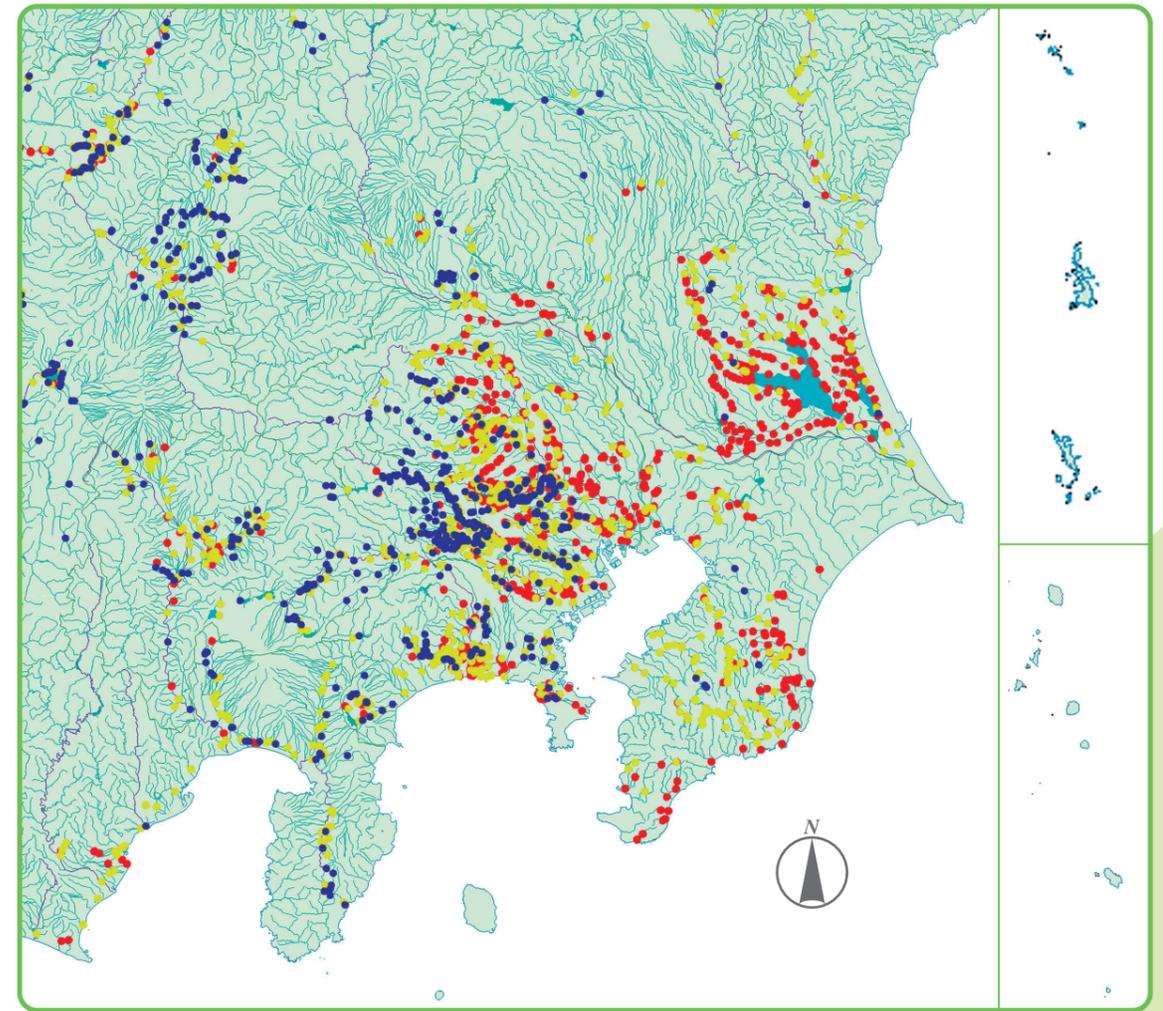


- ・ 農用水に取水しているため流れが緩くなっている。水は薄く褐色を呈している。
- ・ 昔(20年前)よりきれいになった。
- ・ 水質調査に合わせて、午後からは「地球上での水の循環」・「バーチャルウォータークイズ」を行い、暮らしと水の関わり合いや水を汚さないためにはどうしたら良いかを、スカウトと一緒に話し合った。
- ・ CODの基準を普段意識することがないため近所の河川の水質がどんな状態か把握するいい機会になりました。

### 参加者からのコメント



## 関東地方



- 凡例
- COD 0～3mgO/L 未満
  - COD 3～6mgO/L 未満
  - COD 6mgO/L 以上

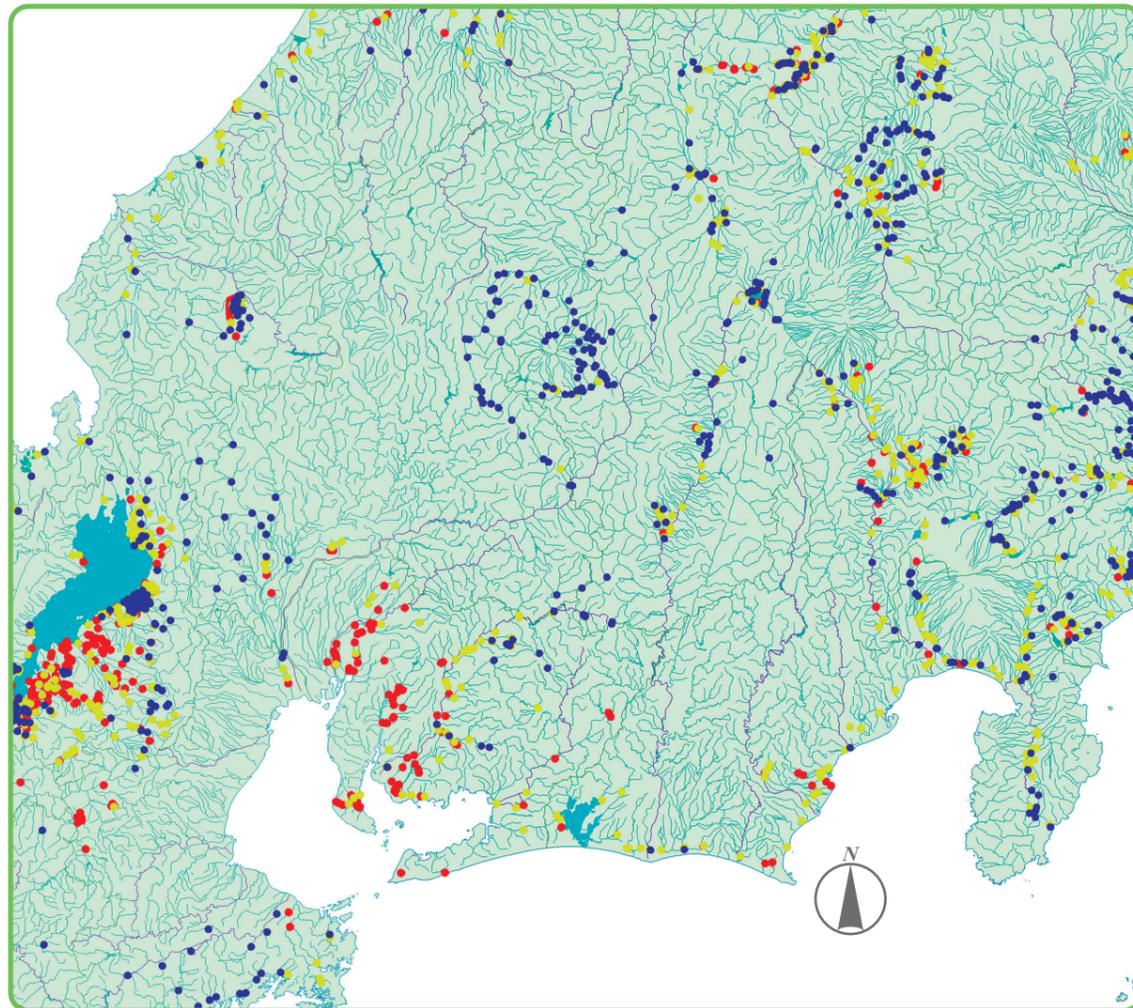
- ・ 20年以上前は真夏にアオコが発生していたが、近年は発生しない。
- ・ 水は澄んで綺麗。ゴミは見あたらなかった。魚影はある、昨年見えていた、コイはみえなかった、カモの親子づれが憩っていた、がっちりした護岸があり、水辺には降りられなかった。
- ・ 昨年はこの時期、池の水は枯れてしまっていたが、今年は降水量の多さも幸いしてとても良い水が湧き出している。一昨年ヤマアカガエルがこの池と北池で見つかった。今後もこの場所を大切にしていきたい。
- ・ 風が強く、また、水上バイクが起こす波が絶え間ない。水上バイクの出入りで水がかき混ぜられ、濁りあり。

### 参加者からのコメント



# IV 各ブロックでの調査結果

## 中部地方

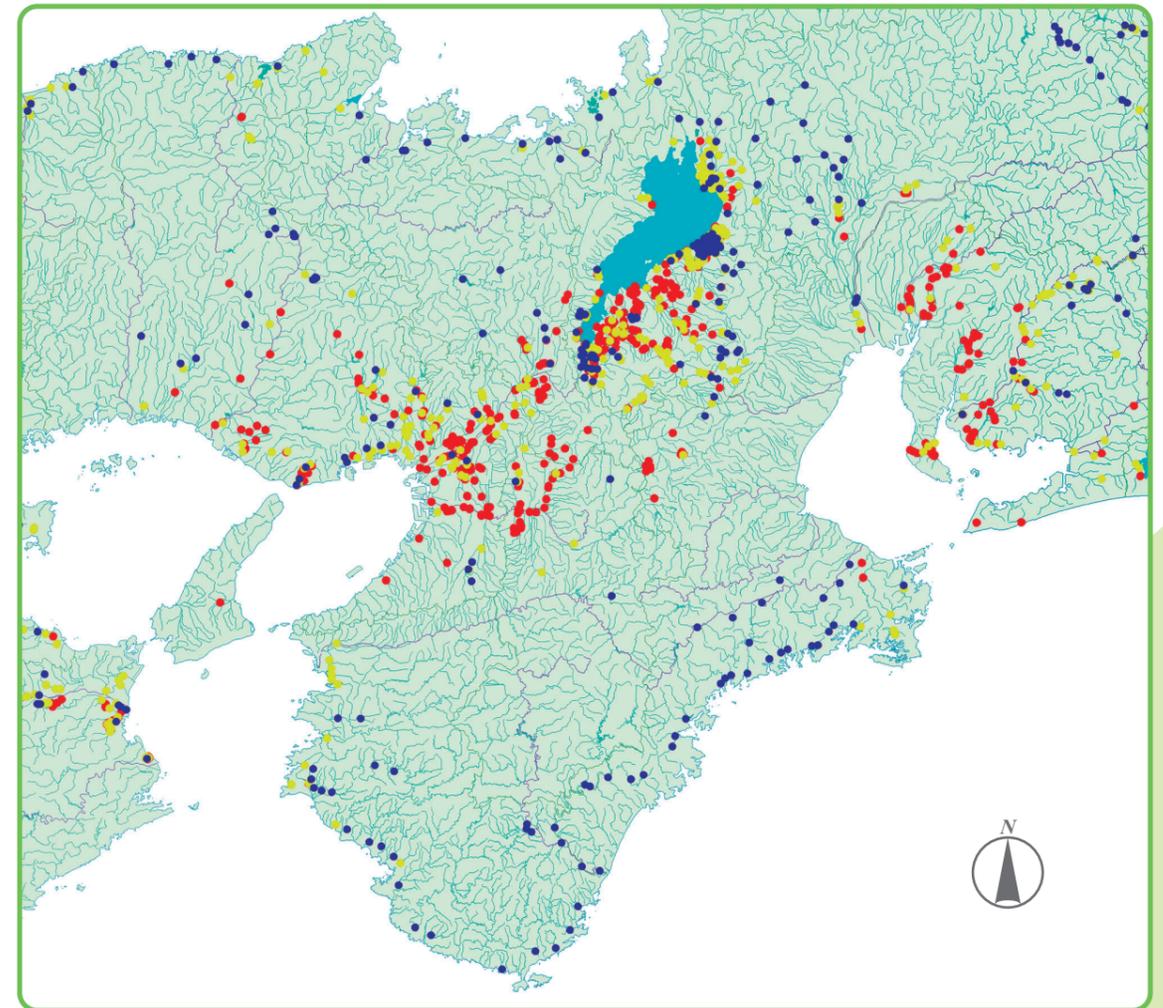


### 参加者からのコメント

- ・水中に綿様の浮遊物が分散していたが、現在認められず。カモがエサを探していた。随分水質は回復したと思う。
- ・流れは緩やかである。濁りは見た目ではきれいなようであるがペットボトルに入れて比較すると随分濁っていた。ごみはペットボトルやビニール袋やパックが見られた。
- ・水量多い。水流早い。茶色っぽい。川辺で人と犬が水に入ったりして遊んでいた。
- ・調査地点周辺にごみ散乱箇所あり。昨年の調査時にもごみあり。



## 近畿地方



### 参加者からのコメント

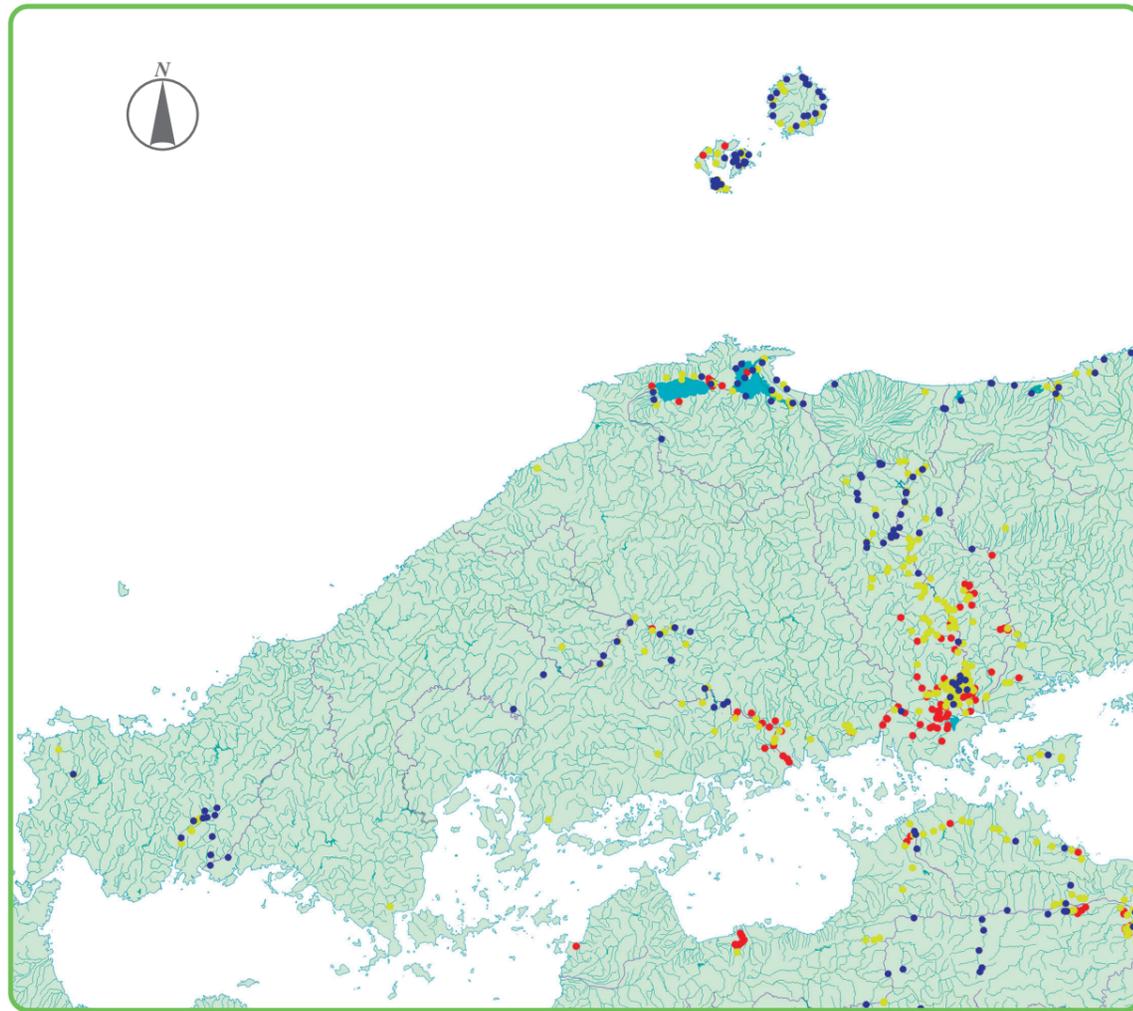
- ・調査3日前に雨が降った。当日は水の濁りは昨年とあまり変化ない。ごみは浮いていなかった。水量は多い。微風でさわやかな日で水面も穏やかでした。
- ・水の濁りは昔よりましになり、においもほとんどなくなった。不法投棄は今も多いように思う。昨年大雨で流れが変わった部分もある。
- ・今年は例年に比べて水量が多かったと思います。調査中であることが分かるように腕章があればよいと思います。今年で10年目です。子供も大きくなり全員での参加が難しくなっていくと思いますが継続して活動できるように頑張りたいです。



凡例 ● COD 0～3mgO/L 未満  
● COD 3～6mgO/L 未満  
● COD 6mgO/L 以上

# IV 各ブロックでの調査結果

## 中国地方

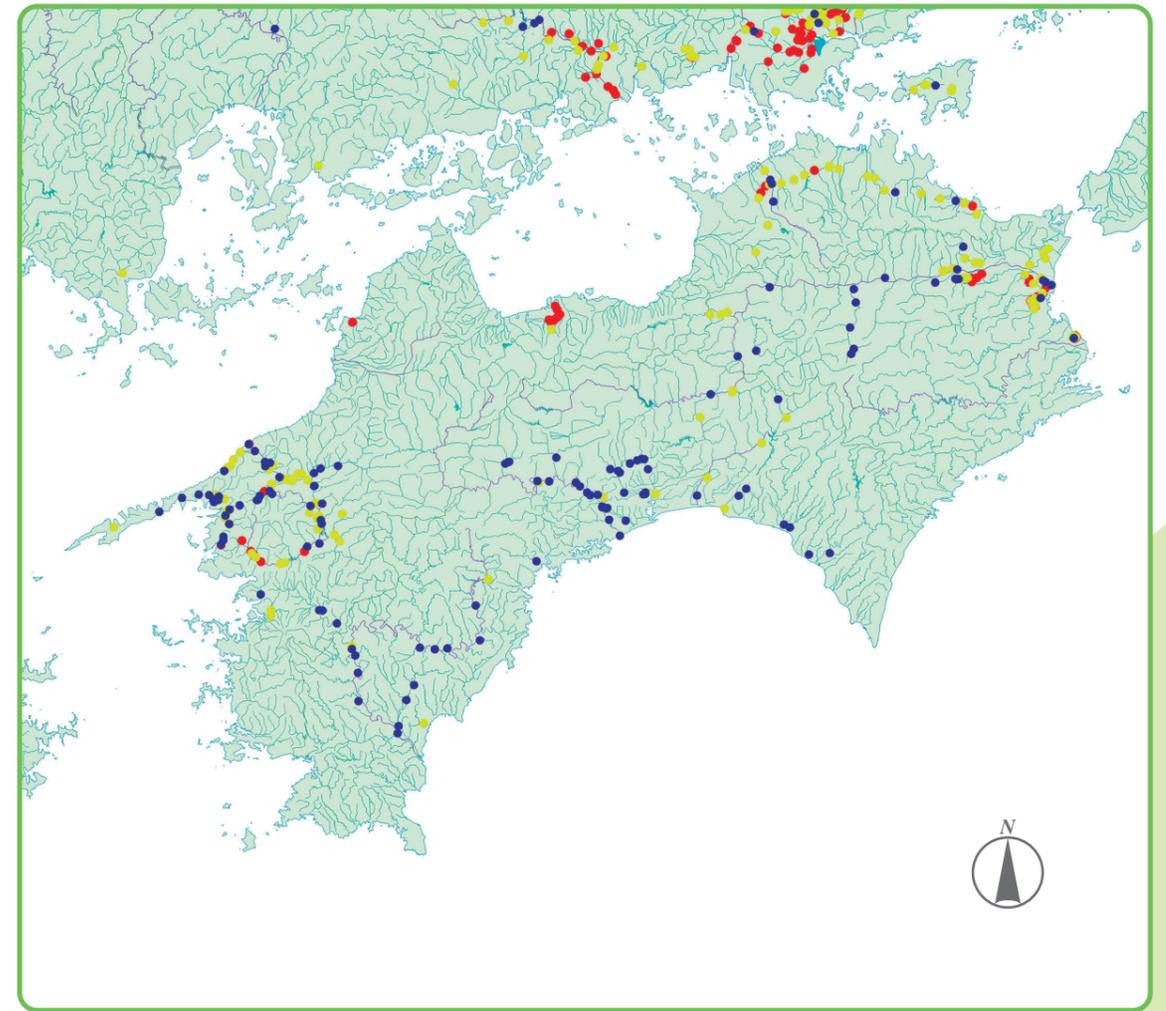


### 参加者からのコメント

- ・波は穏やかで、非常に透明度は高かった。湖岸には海草が多く流れ着いていた。湖岸に流れ着くごみの量はそれほど変わらないが、透明度は高くなってきているように感じる。湖底に生える海草も多くなってきている様子。
- ・増水時のものと思われるごみが多数散乱。田植え時期の為か、水はいつもより濁っていた。
- ・水を調べる活動に合わせて川に親子で入って遊ぶ機会にもなるので好評です。この時期には田植えの準備で水が濁っているので他の時期だともっと澄んだ水を採取できると思う。



## 四国地方



### 参加者からのコメント

- ・近隣にごみの焼却灰を埋設したところあり。水質が気になっているので今後も調査をしていきたい。
- ・水田の水源であり、生活用水でもある。ミズゴケが生えている。樹木の花が散って、水面に浮かんでいる。
- ・川の周りに建物、店舗が増えた。

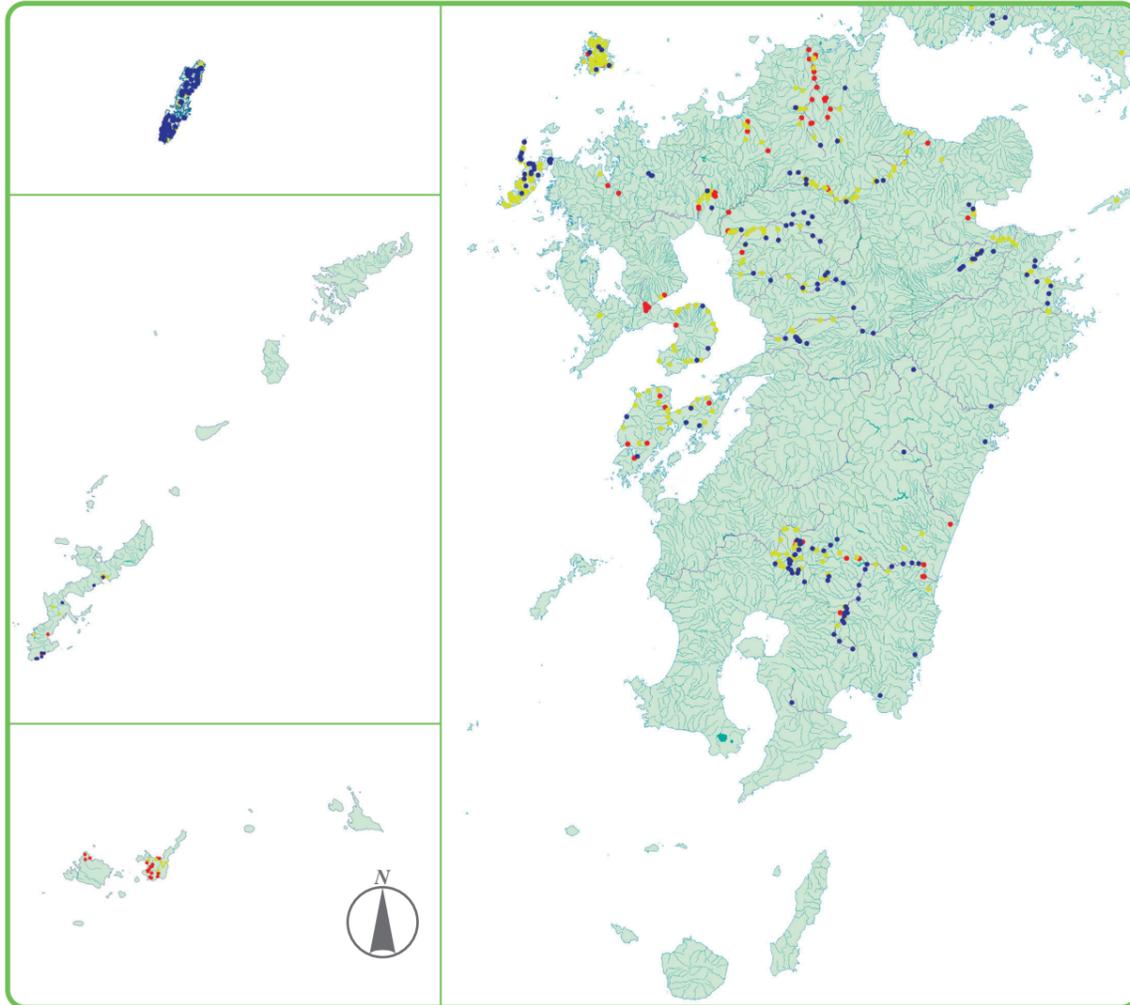


凡例 ● COD 0～3mgO/L 未満  
● COD 3～6mgO/L 未満  
● COD 6mgO/L 以上

# IV 各ブロックでの調査結果

## 九州・沖縄地方

凡例 ● COD 0～3mgO/L 未満  
● COD 3～6mgO/L 未満  
● COD 6mgO/L 以上



### 参加者からのコメント

- 地下水が大事！というのを知っていたけど、それを改めて感じた。（ちょっとむずかしかったけど、なんとなく）検査も楽しかったです。
- 例年より水量が多く、水に濁りもなく、においもない。牧場からの水があまり来ていないのか、生活排水が流れ込まなくなったのか調べたい。
- 瀬高区の水質が他区の川と比べて最も汚れていることが分かりました。今後毎年実施をし、水環境を改善していく一歩になるよう取り組みます。



# V 一斉調査結果の活用事例紹介

## 活用事例

## 仁淀川の水質絵図と水切り大会



ホームページ

### NPO 法人 仁淀川お宝探偵団

〒781-2124 高知県吾川郡いの町八田1467  
Fax 088-893-3275 携帯 090-7578-6172  
mail shono@niyodoriver.com



奇跡の清流と呼ばれる仁淀川は、四国地方の高知県の真ん中を流れて土佐湾に注ぐ、とても水のきれいな川です。透明度が高く深いところでは美しい青色をしているので、最近では「仁淀ブルー」と言って、多くの観光客が訪れます。

NPO 法人仁淀川お宝探偵団は、たくさんの人に仁淀川を誇りに思い愛着を持って守っていただくため、仁淀川を愛するものたちをネットワークして流域の自然・文化・産業を元気にする活動を行います。様々な立場を超えて連携できるように「遊び」を切り口にした活動を展開しています。キーワードはとことん遊ぶ・とことん知る・とことん伝える・とことん守る。

ゆくゆくは全域を川ガキ（大人も含む）の天国に出来たらと願っています。

私たちの主な活動に、「仁淀川の川しらべ」と「仁淀川国際水切り大会」があります。川しらべは、身近な水環境の全国一斉調査のことで、第1回から参加していて皆勤賞を頂いています。6箇所の定点を守りつつ、今では河口から上流まで13箇所を回るツアーを行っています。特にきれいな所を選んでいるわけではないのですが、ほとんどがCOD2以下の水質です。2007年にデータを使って仁淀川の水質マップを作ったことがあります。この時は、あちこちをお願いして、仁淀川水系だけで100地点の水質を測りました。流域のたくさんの企業にスポンサーになってもらい、地図を印刷して流域の学校や関係者に配布しました。たくさんの協力の結晶みたいな地図です。この地図を手にして川や水質に興味を持った人、誇りを持った人、愛着を持った人、何か発見した人がひとりでもいたらいいなあと思います。



人の足が遠のくと川は荒れてきます。ゴミが増えたり水質が落ちたりします。そこで川に人がやってくるにはどうしたらいいか考えて、水切り大会を始めました。毎年8月の最後の日曜日に国際水切り大会を開いています。海外から参加のために来日する選手もいます。アメリカやイギリスの水切り大会で優勝する選手も来ます。トップクラスの選手が技を競い合う試合が見られる大会になってきました。この頃は、あちこちの川原で水切りの練習をしている人を見かけるようになりました。仁淀川がきれいなのは、訪れる人が多いからだと思います。



水切り大会の様子の動画です。

## 活用事例 水質とともにごみ調査で、水辺の環境を見守る



### 全国川ごみネットワーク

〒132-0033 東京都江戸川区東小松川 3-35-13-204  
E-mail: kawa53@kawagomi.jp http://kawagomi.jp/

全国川ごみネットワークでは、2016年より、「水辺のごみ見つけ!」として、水辺のごみ調査を全国的に呼びかけ3年目となりました。全国水環境マップ実行委員会にご協力いただき、バックテストなどの調査セット送付の際に案内を同封いただいています。おかげで、6月には多くの団体・個人の方よりごみ調査の報告をいただき感謝申し上げます。

本調査は水辺に散在する飲料ペットボトル、レジ袋、カップ型飲料容器の個数を数えて報告するだけで、どなたでも気軽に取り組みます。水質調査の際に、「なんでここにごみがあるの?」など周辺のごみにも目を向け、周囲の環境についても考えることに役立ちます。



2017年の調査結果では、全国264地点の内、河川では244地点のべ134kmの調査距離で、計34,172個のペットボトルが数えられました。これは日本の河川(一級、二級、準用河川)の総延長の0.093%です。ここから推測すると、国内河川に約4,000万本ものペットボトルが散在していることが、皆様の調査結果より算出されました。

海洋プラスチックごみが世界的な環境問題となり注目が高まり、川での対策も重要となっています。この調査により、水質と共に川ごみへの関心を高め、流域全体で川へのごみ流入削減を推進したいと思えます。

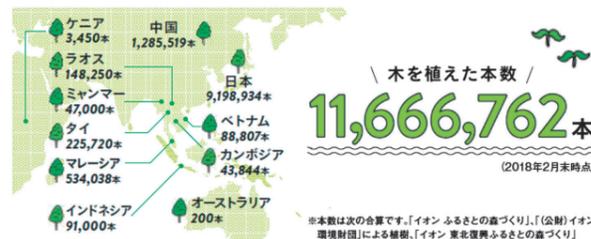


木を植えています  
私たちはイオンです

## お客さまとともに、木を植えています。

木を植えることは、森をつくること。  
森をつくることは、水を守ることに繋がります。

### 植樹活動の広がり



2016年度より全国のイオン チアーズクラブの子ども達「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、河川や水辺の環境について学んでいます。

※イオン チアーズクラブとは、イオンのお店を拠点に子ども達(小中学生)が集まって、環境について学ぶクラブです。全国およそ460クラブ、7,700名のメンバー達が活動しています。

## コラム 「身近な水環境の全国一斉調査」の調査キットについて



### ●はじめに

私たちは「身近な水環境の全国一斉調査」の調査キットを製造しており、第1回から10年以上にわたりご使用いただいております。今年は約7,000地点もの水環境の調査が実施されました。

### ●調査キットの仕様変更

厚生労働省の「毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令」により、調査キットに使用されている試薬の1つが、2018年7月1日から劇物になることが分かりました。調査キットが劇物になると保管や管理が難しくなり、手軽に調査を行えません。

皆様に今まで通り調査を行っていただけるよう、弊社では劇物にあたらぬ試薬を用いて、調査キットの仕様を変更いたしました。

第16回の調査は、仕様変更された調査キットにて実施されます。仕様変更品は従来と同様の使用方法・測定値となり、劇物にもあたらないため、今までと同じように安心してご使用いただけます。

調査キット以外にも、上記の通知に伴い仕様変更を行なった製品がございますので、紹介いたします。(仕様変更品は全て劇物ではございません。また、製品名と価格、入数の変更は行っておりません。)

仕様変更品 (2018年7月～ 販売開始)		
製品名	型式	入数
バックテスト COD	WAK-COD-2	50回分
バックテスト COD(低濃度)	WAK-COD(D)-2	50回分
バックテスト COD(250)	WAK-COD(H)-2	50回分
バックテスト [徳用セット] COD	KR-COD-2	150回分
バックテスト [徳用セット] COD(低濃度)	KR-COD(D)-2	150回分
バックテスト [10回分入り] COD	ZAK-COD-2	10回分
バックテスト [10回分入り] COD(低濃度)	ZAK-COD(D)-2	10回分
バックテスト アンモニウム ※	WAK-NH <sub>4</sub> -2	50回分
バックテスト [徳用セット] アンモニウム ※	KR-NH <sub>4</sub> -2	150回分
バックテスト [10回分入り] アンモニウム	ZAK-NH <sub>4</sub> -3	10回分
井戸水検査セット	AZ-2W-2	各項目1回分
川の水調査セット	AZ-RW-2	各項目2回分
徳用 川の水調査セット	TZ-RW-2	各項目10回分

※ 試薬の数を1種類から2種類へ変更しております。

2018年12月現在

### ●最後に

今後も、「誰でも、どこでもできる水質の簡易分析製品」を皆様へお届けできるよう、努力してまいります。調査キットを通じて、全国一斉調査の取組みである「100年の眼で水環境をみつめる」ことのお手伝いのできれば幸いです。

## 誰でも、どこでもできる 水質の簡易分析製品

河川・湖沼のモニタリングに!

COD, アンモニウム, 亜硝酸, 硝酸, りん酸, 溶存酸素, 透視度 など



https://kyoritsu-lab.co.jp  
kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp TEL:03-3721-9207  
〒145-0071 東京都大田区田園調布 5-37-11 FAX:03-3721-0666

# VI 継続調査参加団体

皆勤賞

15年参加(結果提出)団体(合計93団体)個人参加1名を含む							
北海道	NPO法人十勝多自然ネット	茨城県	利根町	東京都	八王子市東南部環境市民会議	新潟県	NPO法人新潟水辺の会
山形県	美しい山形・最上川フォーラム	茨城県	土浦市	東京都	程久保川を考える会	福井県	大野の水環境ネットワーク
茨城県	一般社団法人霞ヶ浦市民協会	埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会	東京都	八王子市北部環境保全推進地区市民会議	山梨県	Yamanashiみずネット
茨城県	国土交通省 霞ヶ浦河川事務所	埼玉県	環境を考える市民の会・むさし村山	東京都	グループひの消連	山梨県	大泉・水と緑を守る会
茨城県	石岡市	東京都	東久留米ホテルを呼びもどす会	東京都	八王子西南部環境市民会議	山梨県	風間・瀬澤グループ
茨城県	龍ヶ崎市	埼玉県	新産の自然と暮らしを守る市民の会	東京都	東京都山岳連盟自然保護委員会	山梨県	メダカクラブ
茨城県	牛久市	埼玉県	和光自然環境を守る会	東京都	東京NPO-21研究所	長野県	諏訪湖クラブ
茨城県	つくば市	東京都	川づくり清瀬の会	東京都	エコネット町田	岐阜県	NPO法人長良川環境レジャー協会
茨城県	鹿嶋市	埼玉県	生活クラブ生協所沢南支部	東京都	はむら水と緑の会	静岡県	三島ゆうすい会
茨城県	潮来市	埼玉県	NPO法人 エコシティ志木	東京都	環境・国際研究会	愛知県	庄内川松並木づくり隊
茨城県	稲敷市	埼玉県	地域の自然を考える会	東京都	玉川上水ネット	愛知県	大山川を愛する市民の会
茨城県	筑西市	東京都	白子川源流・水辺の会	東京都	府中かんきょう市民の会	滋賀県	認定NPO法人びわこ豊稜の郷
茨城県	かすみがうら市	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	東京都	あおぼく・川を楽しむ会	京都府	相楽環境委員会
茨城県	茨城町	埼玉県	埼玉西部・土と水と空気を守る会	東京都	AMR	大阪府	公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構
茨城県	小美玉市	東京都	西東京生活者ネットワーク	東京都	東京環境工科専門学校 増穂班	岡山県	旭川流域ネットワーク
茨城県	笠間市	東京都	自由学園	東京都	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	山口県	樺野川観察会
茨城県	鉾田市	東京都	明法中学高等学校 科学部	東京都	足立区荒川ビジターセンター	徳島県	地蔵橋駅前町内会環境委員会
茨城県	神栖市	埼玉県	東川を愛する会	東京都	林・宮島ファミリーズ	徳島県	徳島市市民環境部環境保全課
茨城県	行方市	埼玉県	NPO法人 荒川流域ネットワーク	東京都	いたばし野鳥クラブ	徳島県	ガールズスカウト徳島第9団
茨城県	美浦村	東京都	浅川流域市民フォーラム	東京都	北区水辺の会	徳島県	ガールズスカウト徳島第7団
茨城県	阿見町	東京都	八王子ランドマーク研究会	東京都	国分みずづくりクラブ&国分寺地下水の会	愛媛県	NPO法人かわろ復活プロジェクト
茨城県	河内町	東京都	八王子中央地区環境市民会議	神奈川県	東京都市大学 小堀・成研究室	高知県	NPO法人仁淀川お宝探偵団
茨城県	桜川市	東京都	日野市環境共生部 緑と清流課	神奈川県	鶴見川・水質チーム	沖縄県	リュウキュウアユを蘇生させる会

10年以上の参加団体(今年度参加をした上記以外の団体)							
北海道	香広稲田賢徳遊びの会	埼玉県	高麗川ふるさと会	神奈川県	天王森公園	岐阜県	NPO法人いびかみみずエコーステーション
北海道	留萌川を楽しむ会	埼玉県	自然を守る狭山リサイクルの会	神奈川県	神奈川県山岳連盟自然保護委員会	愛知県	NPO法人 環境研究所豊明
北海道	こどもエコクラブ(しろ JEC)	埼玉県	かわごえ環境ネット	神奈川県	NPO環境ファミリア・藤山	愛知県	天白・川辺の楽校
北海道	和光研研株式会社	埼玉県	育てる会	神奈川県	NPO法人 藤沢グリーンスタッフの会	愛知県	たかからでもエコクラブ
北海道	環境クワイエット(株)	埼玉県	荒川の自然を守る会	神奈川県	大岡川流域まちかわけ	愛知県	愛知モーター・エス・エス・エス JEC
北海道	機養別川をよぶ市民の会	埼玉県	鶴ヶ島の自然を守る会	新潟県	NPO法人カニとカキと鶴ヶ島	愛知県	鶴ヶ島・鶴ヶ島と生活を考える会
北海道	利根川をきれいにする市民の会	埼玉県	緑谷の環境を考える連絡協議会	新潟県	日本ボート・エス・エス・エス 新潟第15団	愛知県	矢作川環境技術研究会
北海道	十勝川のシシモを守る会	埼玉県	荒川をきれいにする会	新潟県	長岡技術科学大学 資源エネルギー環境研究室	三重県	荒川流域ネットワーク協議会
北海道	函館水産高校	埼玉県	生活クラブ生協所沢支部	新潟県	NPO法人関川川水辺クラブ	滋賀県	NPO法人 湖生野考現倶楽部
青森県	HEP21エコクラブ JEC	埼玉県	東洋大学	新潟県	新潟市立大学	滋賀県	NPO法人大淀川流域ネットワーク
岩手県	宇野町児童館 わくたんばー	埼玉県	与野・水と緑の会	新潟県	特定非営利活動法人加治川ネット21	滋賀県	野洲川に親しむ会
岩手県	大深沢水産委員会	埼玉県	小鳩の会	新潟県	鶴川を守る会	滋賀県	湖前川流域環境保全協議会
宮城県	仙台バスネット梅田川	埼玉県	さやま環境市民ネットワーク	新潟県	新潟県西蒲原土地改良区	滋賀県	草津塾
宮城県	21世紀の子ども環境と(5L)ネットワーク(MELON)事務局	埼玉県	白岡市観光協会水辺の里親会	新潟県	鶴巻駅前まほの会の会	滋賀県	藤原市役所
秋田県	マックスパル・東北秋田インナーズクラブ	埼玉県	小川町児童館 JEC	新潟県	新発田川を愛する会	滋賀県	(株)グリーンちゅうず
福島県	夢はるこい	千葉県	カヌークラブかわせみ	新潟県	西川を守る会	滋賀県	NPO法人環境を考える会
福島県	白河らしの会	千葉県	たんぽぽ JEC	新潟県	自然環境見守り隊	滋賀県	滋賀県南部環境事務所
福島県	夏井川流域の会	千葉県	自然観察やまぼうし JEC	富山県	北沢宮	滋賀県	NPO法人琵琶湖ネット草津
茨城県	みどり会の会	千葉県	NPO法人南外環境クラブ	富山県	小矢野川に学ぶ会	滋賀県	琵琶湖の水と地域の環境を守る会
茨城県	大子らしの会	東京都	多摩市水辺の楽校	富山県	みずはく地域学芸員	滋賀県	徳源の里 甲斐環境環境保全協議会
茨城県	茨城県山岳連盟自然保護委員会	東京都	高尾・浅川の自然を守る会	石川県	「美自然自然クラブ」	滋賀県	野洲川を愛する会
群馬県	城沼を愛する市民会議	東京都	KoE&Koki	山梨県	野田ファミリー	滋賀県	水の自衛隊 しんすいせんたい アカザ隊
群馬県	川と親しむ会	東京都	ISRL 伝言子・染色体験センター	山梨県	まらぶく時習塾	滋賀県	流湯だかの学校
群馬県	NPO法人新田環境みらいの会	東京都	高尾・浅川の自然を守る会	山梨県	富士川ファンクラブ・南都地区	滋賀県	NPO法人 あびしクラブ
東京都	北川かづの会	東京都	八王子市西部環境市民会議	山梨県	富士川ファンクラブ・六郷地区	滋賀県	信濃川の自然愛護の会
埼玉県	白子川と湖の水環境をよくする会	東京都	八王子市東部環境市民会議	山梨県	富士川ファンクラブ・身延地区	滋賀県	早稲高校 バイオとかが(系列)
東京都	東久留米ほどびょうを守る会	東京都	NPO法人環境活動センター八王子	山梨県	みずネット・おもむ	滋賀県	滋賀県企業庁水浄水場
埼玉県	不老川流域川づくり市民の会	東京都	せたがや野川の会	山梨県	資田ファミリー	滋賀県	東近江環境保全ネットワーク
埼玉県	かわごえ環境ネット 新河岸川水系グループ	東京都	公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会	山梨県	松田(旧)グループ	滋賀県	八幡壺を守る会
埼玉県	生活クラブ生協狭山支部	東京都	環境水辺の家校運営協議会	山梨県	みずみずし	滋賀県	東近江水環境協議会
埼玉県	砂川流域ネットワーク	東京都	あおしま水辺の楽校	山梨県	富士川ファンクラブ・増穂地区	滋賀県	環境フォーラム湖東
埼玉県	都瀬川をきれいにする会	東京都	神田川ネットワーク	山梨県	小松ファミリー	滋賀県	伊勢市環境保全指導員連絡協議会
東京都	空堀川を考える会	東京都	公益財団法人環境系保護協会戸田・東支部	山梨県	八ヶ野鳥クラブ	滋賀県	人と自然を守る会
東京都	西東京の自然を見つめる会	東京都	堀久の自然愛好会	山梨県	調査隊チーム	滋賀県	大津市河川愛護団体連合会
埼玉県	無目川に親しむ会	東京都	江東西船エコーライフの会	山梨県	富士川ファンクラブ・中富地区	滋賀県	天神川を楽しむ会
埼玉県	ふじみ環境クラブ	東京都	沼江環境を考える会	長野県	下諏訪町諏訪浄化推進連絡協議会	滋賀県	相模川を楽しむ会
埼玉県	生活クラブ生協朝霞支部	東京都	美しい多摩川フォーラム	長野県	千曲川水生昆虫研究会	滋賀県	びわ水環境
埼玉県	あさか環境市民会議	東京都	青梅・多摩川水辺のフォーラム	長野県	長野自然調査研究会	滋賀県	長野市水辺少年少女会議
埼玉県	NPO法人 和光・緑と清き水の会	東京都	法政大学水文化地理学研究室	長野県	群青水産会	滋賀県	北郷小学校
埼玉県	三貫湖の会	東京都	NPO法人境川緑のネットワーク	長野県	エコクラブ クラブ	滋賀県	長浜小学校
埼玉県	浦島の環境を考える会	東京都	パレット共の会	長野県	長野市水環境研究会	滋賀県	長浜南小学校
埼玉県	霞川らしの楽校	神奈川県	相模川流域協議会	長野県	グリーンフェスティバル	滋賀県	長浜北小学校
埼玉県	川の博物館ボランティアの会	神奈川県	CCたかつ	長野県	水環境チーム	滋賀県	長浜市びわ南小学校
埼玉県	もりんど	神奈川県	国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所	岐阜県	大垣市環境市民会議 水門川いらいプロジェクト	滋賀県	石巻市環境ネットワーク
埼玉県	さいたま市リバーキーパーズ	神奈川県	いしか水と緑の会	岐阜県	NPO法人飛騨小瀬200滝	京都府	木津川子どもエコクラブ JEC

# VII 全国水環境マップ 実行委員会名簿

この全国水環境一斉調査を実施するにあたり、全国各地の方々からなる「全国水環境マップ実行委員会」を2004年に設置しました。

## 実行委員

氏名	役割	団体名	都道府県	T E L	E-mail
小倉 紀雄	実行委員長	みずとみどり研究会	東京都	042-327-3169	mizutomidoriken@ybb.ne.jp
野村 直也	実行委員	NPO 法人十勝多自然ネット	北海道	0155-22-7511	nomura_n@arc-corporation.co.jp
金子 博	実行委員	NPO 法人パートナーシップオフィス	山形県	0234-26-2381	npo-po@nifty.com
沼澤 篤	実行委員	一般社団法人霞ヶ浦市民協会	茨城県	029-821-0552	kca@cg.mbn.or.jp
渡邊 勇	実行委員	NPO 法人荒川流域ネットワーク	埼玉県	0428-31-7978	nabe0133@t-net.ne.jp
小倉 明	実行委員	新河岸川水系水環境連絡会	埼玉県	048-466-0916	shingashi@freeml.com
小寺 浩二	実行委員	NPO 法人地域環境科学研究会	東京都	090-7253-7380	kodera@hosei89.com
諏訪 祥子	実行委員	浅川流域市民フォーラム	東京都	042-621-1779	CBB00853@nifty.com
藤森 夏幸	実行委員	NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都	03-3654-7240	renraku@cleanaid.jp
風間ふたば	実行委員	Yamanashi みずネット	山梨県	055-220-8193	kagerou@ymizunet.org
沖野外輝夫	実行委員	諏訪湖クラブ	長野県	0266-58-0490	okinow@po2.lcv.ne.jp
金崎いよ子	実行委員	認定 NPO 法人びわこ豊稜の郷	滋賀県	077-583-8686	houjyounosato@lake-biwa.net
山崎 久勝	実行委員	NPO 法人蒲生野考現倶楽部	滋賀県	090-7240-4675	
近藤 忠志	実行委員	公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	大阪府	06-6920-3035	hozenkiko@byq.or.jp
竹原 和夫	実行委員	旭川流域ネットワーク	岡山県	090-1181-1090	okakawa2@yahoo.co.jp
生野 宜宏	実行委員	NPO 法人仁淀川お宝探偵団	高知県	090-7578-6172	shono@niyodriver.com
鈴木 祥広	実行委員	NPO 法人大淀川流域ネットワーク	宮崎県	0985-78-2655	info@oyodo-river.org
小野 朋典	実行委員	リュウキュウアユを蘇生させる会	沖縄県	090-1341-1847	ryukyuyauono@gmail.com

※委員は、平成30年12月1日現在

## 「パナソニック エコリレー ジャパン」は、



国内のパナソニックグループに集う会社、組合、退職者会が「One Panasonic」として、地域社会と共に環境保全活動に積極的に参画し、持続可能な社会づくりに貢献しています。活動では、「森林」「緑地」「水」を中心とした生物多様性保全、里山保全につながる活動、自然教育活動などの地球環境保全活動全般を行い、従業員とその家族に温暖化防止やライフスタイルを見直す意識啓発に取り組んでいます。

特に「水を守る」活動としては、「身近な水環境の全国一斉調査」や「外来種水生植物駆除」など、関係団体と連携し、積極的に取り組んでいます。



パナソニック エコリレー ジャパン 事務局  
 Email : [ecorelay-j@gg.jp.panasonic.com](mailto:ecorelay-j@gg.jp.panasonic.com)  
 URL : <https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/environment/perj.html>

# 身近な水環境を調べよう！

## 第16回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

### 次回調査の予定

2019年6月2日(日)を統一調査日として、第16回の全国一斉調査の実施を予定しています。後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施のご案内をお送りしますのでよろしくお願いたします。

**小倉 紀雄** 全国水環境マップ実行委員会 実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、毎年6月5日の「環境の日(世界環境デー)」に近い日曜日に実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット(無償で配布)を用い、全国で一斉に行います。

調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ(URL <http://www.japan-mizumap.org/>)や国土交通省水管理・国土保全局のホームページ([http://www.mlit.go.jp/river/toukei\\_chousa/kankyo/kankyou/research/index.html](http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/research/index.html))で公表されて

**実施日** 2019年6月2日(日)

**測定項目** 気温、水温、COD、その他

**測定方法** 調査マニュアル、調査キットに基づき測定(※1)

**参加申込と締め切り** 専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局(みずとみどり研究会)に、**2019年3月10日(日)**までにご送付下さい。

なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。

参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

### 事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1 調査キットは、参加申込者に2019年5月頃に配布予定です。

### 問合せ先

○全国水環境マップ実行委員会 事務局

みずとみどり研究会気付(申込・問合せ)

〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202

TEL/FAX:042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp



**積水化成製品**

私たち積水化成製品グループは、  
経営理念の実践を通して  
地球環境を含む  
すべてのステークホルダーに対して  
社会的責任を果たし、  
グローバルに社会の持続的発展に  
貢献します。

積水化成製品グループでは、  
「身近な水環境の全国一斉調査」  
にも継続的に参加しています。

**グローバルに顧客から信頼される  
プラスチック・ソリューション・カンパニー**

**積水化成製品工業株式会社**

本社：〒530-8565 大阪市北区西天満2-4-4 TEL 06-6365-3014  
東京本部：〒163-0727 東京都新宿区西新宿2-7-1 TEL 03-3347-9615  
<http://www.sekisuiplastics.co.jp>



積水化成製品サイト

全国一斉調査 お申し込み先

FAX : 042-327-3169 E-mail : mizutomidoriken@ybb.ne.jp

## 第16回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)からもダウンロードできます。 [Q](#) [身近な水](#) [検索](#)

2019年3月10日(日)までに必ずE-mailまたはFAXでお知らせ下さい。

■ これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

過去の参加あり  初めて

■ 参加グループ名

以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名(個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません)

変更前のグループ名

■ 参加グループの連絡責任者 (個人参加の場合はご記入の必要はありません)

■ 連絡先 (グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など) 住所、電話、FAX、E-mail (特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい・携帯電話のE-mailは不可)

住所:〒

電話

FAX

E-mail

■ 調査予定地点名 河川名など 例) ○○県 ○○川、××用水路、△△池。

■ 河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか

河川以外の水路・水辺(農業用水路、ため池等)で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別途「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒に提出ください。(専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。)

はい  いいえ

■ 調査予定日 ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

6月2日に実施する  6月2日に実施できない【その場合の予定 月 日】

■ 調査予定地点数 水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。

地点 (水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください)

■ 参加申し込みの確認はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。

### 協賛企業等を募集しています

協賛いただいた企業、団体につきまして広告を結果概要パンフレットに掲載させていただきます。当結果概要パンフレットは身近な水環境の全国一斉調査に参加した皆さまや関連団体などに毎年約6,000~7,000部配布しています。詳しくは、全国水環境マップ実行委員会事務局までご連絡下さい。